

### CONTENTS

#### コンソーシアムからのお知らせ

- ・ニュースレターの創刊について
- ・デザインフォーラムについて
- ・デザインセミナーのご案内
- ・デザイン・ブートキャンプ
- ・パートナー企業募集
- ・京都大学サマーデザインスクール
- ・2014テーマ募集

#### コンソーシアムの動き

- ・設立総会
- ・設立記念講演会
- ・理事会等報告

#### 会員紹介

- ・京都大学デザイン学ユニット
- ・京都市リサーチパーク株式会社

### コンソーシアムからのお知らせ

#### ニュースレターの創刊について

デザインイノベーションコンソーシアムでは、  
会員各位への情報提供のため、

◆ニュースレター（隔月）

◆アナウンスメール（随時）（セミナー・イベント等の案内）を  
発行することになりました。

ニュースレターは、コンソーシアム推進委員会が発行し、内  
容としては、コンソーシアムからのお知らせ、コンソーシアム  
の動き、会員紹介、フェロー紹介等を予定しております。

会員紹介、フェロー紹介の執筆等、会員各位にご協力頂くこ  
ととなりますが、ご協力方よろしくお願い申し上げます。

ニュースレター及びアナウンスメールは、各会員組織の窓口  
ご担当者様の他、各会員組織内でご希望の方にお送り致します。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/a54f7d5d58943>  
からメールアドレスを登録・削除頂けます。

会員組織内に広くご案内頂き、ご関心のある方々に是非ご登  
録頂きますようお願い申し上げます。

### CONTACT

デザインイノベーションコンソーシアム

ニュースレター発行：  
デザインイノベーションコンソーシアム推進委員会

事務局：  
京都市リサーチパーク(株)  
産学公連携部内

〒600-8813  
京都市下京区中堂寺南町134

TEL 075-315-8522  
FAX 075-322-5348

<http://designinnovation.jp>  
E-Mail: [info@designinnovation.jp](mailto:info@designinnovation.jp)

### デザインフォーラムについて

#### ①ワークショップデザインシリーズ

ワークショップの設計やファシリテーションのスキルを  
向上したいあなた！

最前線のワークショップ実践者のノウハウ・スキルから学ぼう！

学び、合意形成、コミュニティ活性化、イノベーション創造  
などにおいて「ワークショップ」というアプローチが注目され  
ています。野村総合研究所・京都大学デザイン学ユニット非常  
勤講師の寺田知太氏プロデュースのデザインフォーラム「ワー  
クショップデザインシリーズ（仮称）」（主催：京都大学デザ  
イン学大学院連携プログラム）では、さまざまな分野の最前線  
でワークショップを企画・運営するワークショップデザイナー  
を招き、設計論や心構え、ノウハウを惜しみなく語って頂きま  
す。

第1回は、高齢者や障害のある人をもつくりプロセスに巻き込むインクルーシブデザインの実践者であると同時に、経済産業省において多様な現場の声を巻き込んだ産業政策立案のために東奔西走する塩瀬隆之氏（経済産業省・産業技術政策課課長補佐）から、人と組織を動かすためのワークショップデザインの秘訣を語ってもらいました。大好評で参加募集直後にあいにく満席となってしまいました。

第2回からは、本コンソーシアムも共催となり開催致します。第2回は、サマーデザインスクールでテーマ実施を頂く方にもお役に立つよう、現在、以下の内容で検討しており、決定次第、アナウンスメールでお知らせ致します。

テーマ： ここがダメだよ、あなたのワークショップ（仮題）

内容： 言葉と文字だけでは伝わらない組織や会議でのモヤモヤを、「絵」の力でつなぎ、未来へのアクションを引き起こすグラフィックファシリテーターのやまぎきゆにこ氏をお招きします。過去、ファシリテートしてきた400超のワークショップの分析をもとに、いいワークショップ・ダメなワークショップの違いを忌憚なくご紹介いただきます。

「ワークショップやって」と言われて困っているあなた、見よう見まねでワークショップを運営してきたけど何故かモヤモヤしているあなた、400超のワークショップから抽出した成功のエッセンスを学びに来てください！

対象： ワorkshopの企画・運営のスキルや心構えを学びたい学生・社会人

日時： 7月12日（土）13:00～17:00

場所： 京都大学デザインファブリケーション拠点（吉田キャンパス）

参加費： 無料（セミナー終了後、懇親会が開催される場合には、懇親会費実費）

## ②ビジネスデザインシリーズ

日本経済を支え、世界をもリードしてきた電子産業の凋落傾向は否定できず、これに代替する新産業の興隆、これの萌芽となるベンチャー企業の勃興も期待値からは遠い状況にあります。このため、日本は経済・産業の視点からも大きな転換を余儀なくされ、まさに、産業・ビジネスをグローバルに設計（デザイン）し直す時を迎えています。

元シャープ常務・京都大学デザイン学ユニット特任教授の貫井孝氏プロデュースの「ビジネスデザインシリーズ（仮称）」では、産業界の一線で活動している又はしてきた企業人を招き、ビジネス現場の実態、抱えているビジネス課題、その突破口、戦略、そのための人材論などのアクチュアルな講演をいただきます。これをもとに、産・官・学の参加者が、質疑、試論を交わし、ビジネス価値、ビジネスモデルを創造する思考起点になることを期待しています。

国の経済活動の中枢を担う「産業・企業・グローバルビジネス」という切り口から、様々な分野・バリューチェーンにおける解決課題の認識と方向性、それを可能とするイノベティブな人材要件などを語り合い、それぞれ立場の人々のモチベーションを高めるとともに、「これから」のビジネスイノベーションに繋がる一歩とすることを目指します。

今年度は、電子産業、海外展開、研究開発、企業トップ等に関するテーマで、5回程度の開催を検討しており、第1回は以下の日程で貫井特任教授に自ら語って頂く予定です。ご期待下さい。

日時： 8月1日（金）17時30分頃～20時30分頃

場所： 京都大学デザインイノベーション拠点（京都リサーチパーク）

参加費： 無料（セミナー終了後、懇親会が開催される場合には、懇親会費実費）

## デザインセミナーSeries1「サービスデザイン」のご案内

デザインセミナーでは、デザイン対象領域の理論を説く講義とデザイン理論を実践するワークショップを組み合わせ、社会における複合的な問題を多角的に捉え、解決する能力の養成を目指します。コンソーシアム会員の皆様には優先的にご参加いただけるよう、一般募集に先駆けてのご案内となります。ご参加をご検討いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ○Series1「サービスのデザイン」

最初のシリーズでは、サービスのデザインについて学びます。サービスデザインは、サービス業だけのものではありません。製造業の付加価値は下流のサービスにシフトしつつあり、製造業がサービス化を進め、ITも所有から利用へシフトしています。サービスとは顧客との接点であり、企業にとって最重要のデザイン領域です。本セミナーでは、サービスについての理論、サービスを理解するための体験に根差した観察手法、サービスデザインの方法論やツール、サービスをプロトタイプングし検証する手法などを学びます。同時に、テーマに沿った複数のチームに分かれてサービスデザインを実践することで、学んだ理論や方法論を具体的に適用します。

## プログラムの特徴

京都大学に蓄積された学際的なデザイン対象領域の理論、IDEOのdesign thinkingのノウハウ、博報堂の生活者発想による実践的なワークショップの融合により、知識と知識を活かす力を身につける3日間です。また、意欲の高い京都大学の学生と協働で学ぶことで、相互能力の向上を目指します。

## カリキュラムの内容

サービスに関する理論的内容とサービスデザインの実践を組み合わせた構成となっている。京都大学で研究を進めているサービスの理論や方法論を講義や分析セッションなどの形で学び、チームに分かれて具体的なデザインプロジェクトに取り組むことを通して、IDEO や博報堂が実績を持つデザイン実践を学ぶ。

## 講義例

### サービスへの招待

サービスについての基本的概念を概観する。サービスの特徴、顧客満足度、提供者や顧客の特性と満足度の関係などを議論する。

### サービスデザインとは

サービスデザインの基本的考え方とそのツールを学ぶ。例えば、カスタマージャーニーマップにより客とのタッチポイントの抽出とそのデザインの方法を学ぶ。

### エスノグラフィック分析

文化的な側面を分析し当たり前をカッコに入れて記述する方法を学ぶ。分析のスタンスや手順の他、分析で使える理論的概念を紹介する。

### ビデオ分析セッション

サービスの文化的側面を理解する。鮎屋、ファストフード、イタリアン、フレンチなどのサービス現場を記録したビデオを用いて、表面的な記述を乗り越え、文化的な深い分析を行う。

### サービスの理論的理解

おもてなしというような幻想的な概念を乗り越え、「サービスとは闘いである」というテーゼをもとに、サービスの本質を紐解く。この理解を踏まえて、より厚みのあるサービスのデザインを目指す。

## デザインセミナーSeries1 「サービスデザイン」のご案内

### 【開催要項】

日程： 平成26年9月3日（水）～5日（金）

会場： 京都市サーチパーク

受講資格： なし

定員 30名程度

参加費： 正会員A 165,000円（消費税込）

正会員B 300,000円（消費税込）

※宿泊費は含まれておりません

申込方法： デザインイノベーションコンソーシアムのウェブよりお申し込みください。

<http://designinnovation.jp/program/designseminars/ds01.html>

募集期間： コンソーシアム会員特別優先受付  
6月16日（月）まで

主催： デザインイノベーションコンソーシアム  
京都大学デザイン学大学院連携プログラム

協力： 株式会社博報堂、IDEO Tokyo

問合せ先： デザインイノベーションコンソーシアム

事務局 担当：山口

Tel: 075-315-8522

mail: [info@designinnovation.jp](mailto:info@designinnovation.jp)

<http://designinnovation.jp>

## カリキュラム（予定）

	Day1 9/3(水)	Day2 9/4(木)	Day3 9/5(金)
9:00			
10:00	9:30-12:00 招待講演(調整中)	9:30-10:45 ダウンローディングと洞察 セッション②	9:30-10:30 アイディエーション2 セッション④
11:00		Coffee Break(15分)	10:30-11:45 プロトタイピング2 セッション⑦
12:00	Lunch	Lunch	Lunch
13:00	13:00-13:45 サービスへの招待 講義①	13:00-14:00 分析とアイディエーション1 セッション③	13:00-14:30 プレゼンテーション準備
14:00	13:45-14:15 サービスデザインとは 講義②	Coffee Break(30分)	
15:00	14:30-15:00 エスノグラフィック分析 講義③	14:30-15:30 プロトタイピング1 セッション④	Coffee Break(30分)
16:00	15:00-16:15 分析セッション 講義④	15:30-17:00 パイロットング セッション⑤	15:00-16:30 プレゼンテーション セッション⑧
17:00	16:15-16:45 イントロダクション/チームビルディング セッション①		16:30-17:00 ラップアップ
18:00	16:45- アサインメント: フィールドワーク フィールドワーク	17:30- ネットワークングディナー	

詳細は、<http://designinnovation.jp/program/designseminars/ds01.html> をご覧ください。

## デザイン・ブートキャンプ パートナー企業募集

異業界を横断するメンバーがデザイン理論・手法を用いて社会課題の解決を目指す約3日間のイノベーションプログラムである「デザイン・ブートキャンプ」については、今年度下期の開催に向けて、テーマの設定、フィールドの提供、プログラム開始時における問題意識の提供・共有等を主導頂く「戦略的パートナー企業」を現在募集しております。

業界を横断する社会人を主体とした参加者により、プロフェッショナルなファシリテーションの下で、ビジネス的観点に立ったオープンイノベーションが期待できます。サマーデザインスクールのテーマ提案検討に併せてご検討いただきますようお願い致します。

## 京都大学サマーデザインスクール2014テーマ募集

「京都大学サマーデザインスクール」は、3日間集中のデザイン・ワークショップです。4回目となる今年は、本コンソーシアムも主催に加わり、2014年9月24日～26日に京都リサーチパークにて開催されます。

ここで扱う「デザイン」とは、プロダクトデザインやグラフィックデザインばかりではなく、社会のシステムやアーキテクチャのデザインをも含みます。本スクールでは、様々な専門性を持つ受講者と講師陣がテーマに分かれ、社会の実問題に挑みます。

ぜひ、魅力的なテーマをご提案下さい。

### 【開催要項】

日時: 2014年9月24日(水)～26日(金)

場所: 京都リサーチパーク

主催: 京都大学デザイン学大学院連携プログラム、京都大学大学院情報学研究科、京都大学経営管理大学院、デザインイノベーションコンソーシアム

共催: 京都大学大学院工学研究科、京都大学大学院教育学研究科、京都大学学術情報メディアセンター、京都市立芸術大学美術学部・美術研究科、京都工芸繊維大学工芸科学研究科

### ■ テーマ応募の方法:

<http://www.design.kyoto-u.ac.jp/sds2014/theme.html> から、テーマ提案書及びテーマ・イメージスライドをダウンロードし、記載の上、[sds-2014@designinnovation.jp](mailto:sds-2014@designinnovation.jp)にご送信下さい。  
なお、参加者募集開始は、7月頃の予定です。

■ 応募締切: 6月20日(金) 採択決定予定: 7月1日(火)

### ■ お問い合わせ先

サマーデザインスクール 2014 事務局  
Email: [sds-2014@designinnovation.jp](mailto:sds-2014@designinnovation.jp)

### ■ ご留意頂きたい事項 (詳細は、テーマ提案書 P5以降の確認事項欄をご覧ください。)

(1)平成26年度から、提案頂いたテーマにつきましては、多くの応募が見込まれることから、サマーデザインスクール運営委員会で審査を行い採否を決めさせて頂くこととなりました。また、採択されたテーマにつきましても、参加希望者が少ない場合には実施できないことがあります。ご了承頂きますようお願いいたします。

(2)テーマ実施料・参加料は、本年度は経過措置として無料(テーマに特有の費用は、当該テーマの実施者の所属機関負担)としておりますが、平成27年度から有料化を予定しています。

### ■ テーマ提案書の作成のために

以下のサイトにパンフレットや過去の実施テーマの課題内容、教育目標、使用するデザイン理論・手法、スケジュールが記載されております。

<http://www.designinnovation.jp/program/summer-designschool.html>





# コンソーシアムの動き

## 設立総会・設立記念講演会・理事会等報告

2014年3月14日（金）に、京都大学百年時計台記念館の国際交流ホールにおいて設立総会を開催し、「デザインイノベーションコンソーシアム」が正式に発足しました。当日は、多くの会員の皆様（出席：41組織、委任状提出：3組織、参加総数約100名）にご出席いただき、規約の承認及び役員選任を行いました。コンソーシアム会長にはNTT西日本の大竹取締役相談役、副会長には京都大学の門内教授が選任され、理事として企業や大学から6名の方にご就任いただくこととなりました。最後に、京都大学の淡路理事・副学長から京大デザインスクール及び本コンソーシアムへの熱いメッセージを頂戴し閉幕となりました。

この後、コンソーシアムの設立を記念して開催された設立記念講演会は、会員組織に加えて京大の学生や教員の方々が加わり、200名近くの熱気溢れる会場で、アメリカZIBA社の戦略ディレクター・ビジネスデザイナーの濱口秀司氏によるイノベーションの作法の講演が行われました。濱口氏は京都大学のご出身で、USBメモリをはじめ数々のイノベーションの実績を持つデザイン戦略、イノベーションの世界的第一人者であり、本コンソーシアムのスタートとなる講演として、実にタイムリーな話題をご提供いただきました。2時間近くの講演後も、会場からの質問が終わらず、終了後も濱口氏を取り囲む人の輪が幾重にも広がっておりました。



設立総会の終了後には、creativeな活動を行う様々なstudioがあり、3Dプリンタ、3Dスキャナ等の各種機器が整備された京都大学デザインファブリケーション拠点の見学が行われました。設立総会の会場から離れている場所にあるにも関わらず、多くの方に足を運んで頂き、熱心に見学頂きました。

この間、理事会が開催され、各種規程やコンソーシアムの日常的運営を目的として理事会の下に推進委員会を設置することが決定されました。

懇親会は、大竹会長、石田京都大学デザイン学ユニットコーディネータのご挨拶、門内副会長の乾杯のご発声でスタート、ひとしきりご歓談いただいた後、京都大学から佐藤情報学研究科長、北野工学研究科長、理事を代表して野村総合研究所の三浦執行役員、三菱電機の田中役員技監、自治体からは京都市の白須産業戦略監にそれぞれご挨拶をいただきました。まだまだご挨拶いただかねばならない方々にご出席いただいておりますが、時間の都合上叶いませんでした。会場では懇談の輪が広がり、デザインスクールの履修者も含めて賑やかな談笑が続き、ほとんどの出席者が京都リサーチパーク森内社長による中締めのご挨拶までお付き合いいただきました。

# コンソーシアムの動き

## 設立総会・設立記念講演会・理事会等報告

### 役員

選任された役員の方々は以下の通りです。（敬称略）

会長	大竹 伸一	西日本電信電話株式会社 取締役相談役
副会長	門内 輝行	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻教授
理事	荒尾 眞樹	オムロン株式会社 執行役員常務
	田中 健一	三菱電機株式会社 役員技監
	三浦 智康	株式会社野村総合研究所 執行役員 未来創発センター長
	守倉 正博	京都大学大学院 情報学研究科 通信情報システム専攻 教授
	山本 和彦	森ビル株式会社 特別顧問
財務担当理事	川上 浩司	京都大学 デザイン学ユニット 特定教授
監事	徳賀 芳弘	京都大学 経営管理大学院 教授

### 推進委員会

選任された推進委員会構成員は以下の通りです。（敬称略）

委員長	川上 浩司	京都大学 デザイン学ユニット 特定教授
委員	門内 輝行	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻 教授
	荒尾 眞樹	オムロン株式会社 執行役員常務
	三浦 智康	株式会社野村総合研究所 執行役員 未来創発センター長
	守倉 正博	京都大学大学院 情報学研究科 通信情報システム専攻 教授
	越智 通有	西日本電信電話株式会社 技術革新部 担当課長
	川島 克也	株式会社日建設計 常務執行役員
	辻野 克彦	三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 グループマネージャー
	石田 亨	京都大学大学院 情報学研究科 社会情報学専攻 教授
	榎木 哲夫	京都大学大学院 工学研究科 機械理工学専攻 教授
	松井 啓之	京都大学 経営管理大学院 教授
	貫井 孝	京都大学 デザイン学ユニット特任教授
	十河 卓司	京都大学 デザイン学ユニット特定准教授
	伊沢 好広	京都大学 デザイン学ユニット特任准教授（幹事）
	木村 千恵子	京都リサーチパーク株式会社 産学公連携部長（幹事）

### 会費納入のお願い

平素より、コンソーシアムの運営にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。  
さて、正会員A及び正会員Bの窓口担当者様に平成26年度年会費の請求書をお送りしております。まだ、納入頂いていない会員におかれましては、6月末までに納入をお願い申し上げます。

正会員A 年会費 300,000 円（消費税不課税）  
正会員B 年会費 50,000 円（消費税不課税）

【振込指定口座】  
京都信用金庫 七条（ナナジョウ）支店 普通 370979  
振込先名称：デザインイノベーションコンソーシアム口  
デザインイノベーションコンソーシアムグチ）  
金融機関コード：1610 支店コード：061

## 会員紹介

### 京都大学デザイン学ユニット

会員各位におかれましては、平素より、京都大学に対し、多くのご支援を賜るとともに、この度は、本コンソーシアムに入会頂きましたことを厚く御礼申し上げます。

現代社会の複雑化した諸問題は、高度に専門分化が進んだ現在、単一の専門領域の知識だけで解決することは容易ではありません。多くの専門領域の知見を重ね合わせて解決法を模索する「デザイン学」の視点が求められています。

こうした状況に鑑み、京都大学では、平成25年度より「京都大学デザイン学大学院連携プログラム」を開始しました。本プログラムは、京都大学の4つの研究科、専門職大学院を中心に、産官との密接な連携により、デザイン学を基礎に異分野の専門家と協働しながら、社会の実問題に取り組み、社会のシステムやアーキテクチャをデザインできる優れた人材を養成することを目指す5年一貫の博士課程プログラムです。情報学、機械工学、建築学、経営学、心理学等の約70名の教員でデザイン学ユニットを構成し、学生は修士2回生の13名に加え、この4月には留学生を含む新修士1回生28名を迎えたところです。

本コンソーシアムは、京都大学デザイン学ユニットと産業界・行政の連携により、大学が保有する知のネットワークと産官が持つ実践力が交わる相互学習の場を形成しつつ、グローバル社会の複合的な問題を解決できる人材の育成を推進し、産官と学の双方に接する中間組織体となることを目指しています。会員各位のご協力を頂きつつ、自ら創造的なプロセスに寄与できるスキルと専門性を備え、異領域間のコラボレーションを行える活力ある人材を育成したいと考えておりますので、今後ともご支援をお願い申し上げます。



履修者(予科)合宿にて 於：滋賀県高島市

### 京都リサーチパーク株式会社

この度は、デザインイノベーションコンソーシアムの設立、誠にありがとうございます。

平成23年夏、京大デザインスクールの布石となった第1回のサマーデザインスクールが、京都リサーチパーク（KRP）のアトリウムで開催されました。若いエネルギーが溢れる3日間は、新たなイノベーションのパワーを感じた瞬間となりました。翌年、文部科学省のリーディング大学院プロジェクトの採択を受けられると同時に、デザインスクールの活動を社会に見える形にと、【デザインイノベーション拠点】をKRPに設置頂きました。我々も共にこの活動をお手伝いさせて頂こうと、決意を新たにしました次第です。

拠点が置かれておりますKRPでは、ベンチャー企業から大手企業、更には公的機関も含め、現在では340社4千名の方々が、日々研究活動や事業活動に切磋琢磨されております。我々も本年創立25周年を迎え、産官学の「イノベーションハブ」として、また「グローバル連携拠点」として、その機能を一層深化して参りたいと考えております。

コンソーシアムの役割は、企業・公的機関と大学をつなぐ中間組織体として、京都大学デザインスクール（京都大学デザイン学大学院連携プログラム）を核とする産学官の活動を推進することとなっております。また、産学官連携の新たな日本モデルの組成を目指したコンソーシアムでもあります。KRPは会員として、また事務局の立場として、様々な企画や運営をプロアクティブに進めながら、このコンソーシアムの離陸に全力をあげてゆく所存でございます。今後とも、皆さまのご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



京都リサーチパーク株式会社  
代表取締役社長 森内敏晴